

News Release

平成 26 年 11 月 19 日
株式会社日本政策投資銀行
代表取締役社長 橋本 徹

「アジア 8 地域・北海道観光に関する訪日外国人の意向調査 (平成 26 年版)」を発行

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：橋本徹、以下「DBJ」という。）は、このたび「アジア 8 地域・北海道観光に関する訪日外国人の意向調査（平成 26 年版）」と題したミニレポートを発行しました。

DBJでは、昨年・一昨年に引き続き、平成26年9月にアジア8地域（韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア）の海外旅行経験者を対象としたインターネットによるアンケート調査を実施しました。

DBJ北海道支店では、この調査結果を踏まえ、北海道観光に対する訪日外国人の認知度、訪問意欲、期待等に関する内容をミニレポートとして整理しました。

調査結果の特徴としては、以下の3点が挙げられます。

- (1) アジアにおける北海道ブランドの高さは、日本の観光地の中でトップレベルであること。今回の調査では、インドネシアで「北海道」の認知度や訪問意欲が上昇しており、プロモーション強化の影響の可能性があること。
- (2) 道内観光地（「札幌」「函館」「帯広/十勝」「ニセコ」「知床」「釧路/阿寒」について調査）の中では、「札幌」「函館」に対する訪問意欲が日本の観光地の中でも上位にあること。
- (3) 北海道観光に意欲のある外国人旅行者は、「自然・景観」「食」「雪」「温泉」への期待が高いこと。また、実際に北海道を訪れた外国人旅行者の「温泉」に対する満足度は、全国に比べて高いこと。

当レポートをご希望の方は、DBJ ウェブサイト「地域・海外レポート（北海道）」(<http://www.dbj.jp/investigate/area/hokkaido/>)に掲載しておりますのでご参照ください。

DBJ は、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決でお客様の信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、地域に役立つ情報発信を積極的に行ってまいります。

【お問い合わせ先】

北海道支店 企画調査課 011-241-4117